

令和5年度

肢体不自由教育部門

中学部

第1学年

⑤学習グループ

年間指導計画

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	中学部	学年	第 1 年	
教科等名	国語			学習グループ	⑤	
ねらい	(1) 社会生活に必要な国語の知識や技術を身に付けるとともに、我が国の文化に親しんだり理解したりすることができるようになる。 (2) 様々な作品に触れ思考力や判断力を養い、他の学習にも生かす。 (3) 進んで読書をし、思いや考えを伝える力を身に付ける。					
担当教員	所 竜之介			年間授業時数	140 時間	
使用教科書	三省堂「現代の国語1」					
主な指導の工夫	(1) プリントやICT機器を用いて、生徒の理解が深まるようにする。 (2) 漢字練習や語句調べは宿題とし、家庭学習の習慣が身に付くようにする。 (3) 読書活動を促すとともに、適時感想文を書き、自分の考えや思いを伝える技術を養う。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	朝のリレー 竜	10	◆ 詩の内容を理解し、想像力を豊かにする。 ◇ 音読を大切にす。詩について自分の意見をもつ。 ◆ 物語の面白さ、擬声語・擬態語を知る。 ◇ 読み方を工夫し、主人公の気持ちを考える。	○		
5	読書感想文 文法（文節、単語）	15	◆ 本の内容を理解し、読書感想文が書ける。 ◇ 読書感想文を書き、みんなの前で発表しあう。 ◆ 文節を理解する。 ◇ プリントで問題を解く。		○	
6	空中ブランコ乗りのキキ 字のない葉書き	15	◆ 自己との向き合いを考える。 ◇ 主人公の気持ちの変化を読み取る。 ◆ 家族の絆について考える。 ◇ 「父」の気持ちと変化を捉える。		○	
7	葉書きを書く	10	◆ 季節に応じた葉書が書ける。 ◇ 暑中見舞いの葉書を書く。			○
9	竹取物語	15	◆ 内容を理解し、古文特有のリズムを味わう。 ◇ 音読を大切にし、古文単語を学習する。	○		

月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
9	故事成語		◆ 訓読ができるようになり、内容を理解する。 ◇ プリントで訓読の仕方を学習し、原話を知る。	○		
10	スピーチする 文法（十品詞）	15	◆ スピーチの仕方を身に付ける。 ◇ テーマを決めて聞き手に伝わりやすい話し方を教える。 ◆ 十品詞を理解する。 ◇ 十品詞を暗記し、自立語、付属語の違いが分かる。			○ ○
11	それだけでいい	15	◆ 言葉を的確に捉えて、内容を理解する。 ◇ 自分の思いを、詩の技法を用いて表現する。	○		
12	トロッコ 葉書きを書く	12	◆ 主人公の心情の変化と場面の展開を捉える。 ◇ 人物の言動に注目できるように促し、場面情景を考える。 ◆ 季節に応じた葉書きが書ける。 ◇ クリスマスカードや年賀状を作成する。		○ ○	
1	意味と意図（説明文） 意見文を書く	15	◆ 内容を理解し、古文特有のリズムを味わう。 ◇ 音読を大切に、古文単語を学習する。 ◆ テーマに対して自分の意見が書ける。 ◇ コミュニケーションについて意見文を書く。	○ ○		
2	少年の日の思い出 文法	15	◆ 他者とかかわる自己を考える。 ◇ 主人公の心理を、比喻の内容をもとに丁寧に考え、追っていく。 ◆ 学習した文法の知識の定着を図る。 ◇ 文法を復習する。		○ ○	
3	学習新聞の作成	10	◆ 1年間の学習を振り返る。 ◇ 心に残っている学習内容を新聞にする。 ◇ 語句や漢文など、一年間の復習をする。			○ ○

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体(本校)	学部	中学部	学年	第1年	
教科等名	社会			学習グループ	⑤	
ねらい	(1) 地球表面の様子を捉え、世界の地域ごとの人々の生活の様子を知る。 (2) 日本の歴史の大きな流れを理解する。 (3) 資料やグラフを活用し、歴史的事象の起きた理由を考える力を養う。					
担当教員	小柳 伸哉			年間授業時数	105 時間	
使用教科書	帝国書院「中学生の地理」 東京書籍「新しい社会 歴史」 東京書籍「新しい社会 地図」					
主な指導の工夫	(1) 資料を大きく拡大するなど、活用しやすい工夫をして提示する。 (2) 視聴覚教材やICT機器を多く用いて、主体的な学びを促す。 (3) 教員との対話や発問により、多面的多角的な思考を深める。					
月	単元(題材)名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
月	単元(題材)名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4 5	第1部 世界のさまざまな地域 第1章 世界の姿	15	◆ 世界の地域区分や国々の名称と位置などをもとにして、世界の地域構成を捉える。 ◇ 地球儀や世界地図を活用し、地球の表面、地域構成を知る。 ◇ 小テスト			○
6 7	第1部 世界のさまざまな地域 第2章 世界各地の人々の生活と環境	18	◆ 世界各地における人々の生活の様子とその変容について、自然及び社会的条件と関連付けて考察し、世界の人々の生活や環境の多様性を理解する。 ◇ プリント、資料読み取り、視聴覚資料。 ◇ 小テスト	○		○
9	歴史 序章	12	◆ 歴史を学ぶ意欲を高め、その意義について考える。 ◇ 年代の表し方、時代区分。 ◇ 小テスト	○		○
10	第1章 原始と古代の日本	12	◆ 人類の出現、文明のおこりから各地に国家が生まれていく経緯を把握する。 ◇ プリント、資料読み取り、視聴覚資料。 ◇ 小テスト	○		○

月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
11	第1部 世界のさまざまな地域 第3章 世界の諸地域	12	◆ 世界の諸地域について、各州に暮らす人々の生活の様子をもとに、それぞれの地域的特色を理解する。 ◇ プリント、資料読み取り、視聴覚資料。 ◇ 小テスト	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12	第2章 中世の日本	9	◆ 武士が登場し力を伸ばした理由を考察 ◇ プリント、資料読み取り、視聴覚資料。 ◇ 小テスト	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
1	第3章 近世の日本	18	◆ 大航海時代による諸外国からの影響と武士社会の確立、産業の発展や特色ある文化の違いについて理解を進めていく。 ◇ プリント、資料読み取り、視聴覚資料。 ◇ 小テスト	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2				<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3	第1部 世界のさまざまな地域 第3章 世界の諸地域	9	◆ 世界の諸地域について、各州に暮らす人々の生活の様子をもとに、それぞれの地域的特色を理解する。 ◇ プリント、資料読み取り、視聴覚資料。 ◇ 小テスト	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体(本校)	学部	中学部	学年	第1年		
教科等名	数学			学習グループ	⑤		
ねらい	(1) 数量や図形などについての基礎的な概念や性質を理解する。 (2) 日常の事象を数理的にとらえ、見通しを持って課題に取り組む。 (3) 学習を振り返りよりよく問題を解決しようとする態度を養う。						
担当教員	長嶺亜矢子			年間授業時数	140 時間		
使用教科書	大日本図書 数学の世界1						
主な指導の工夫	(1) 具体物や数直線を用いてイメージしながら考えられるようにする。 (2) 結果の正誤だけでなく。考えた内容を重視する。 (3) 教科書に加えて、プリント課題等も用意する。						
月	単元(題材)名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点			
				知識	思考	態度	
4 5 6	数の世界のひろがり	25	◆ 自然数や負の数について理解する。 ◆ 負の数が混ざった四則演算ができる。 ◇ 素因数分解 ◇ 正の数と負の数 ◇ 加法と減法 ◇ 乗法と除法 ◇ いろいろな計算			○	
	文字と式		16	◆ 文字で表現する方法を理解する。 ◆ 文字と式を計算することができる。 ◇ 文字と式 ◇ 文字式の計算		○	
	7				○		
9	1次方程式	13	◆ 方程式を解くことができる。 ◇ 1次方程式 ◇ 1次方程式の利用	○		○	
10 11	量の変化と比例、反比例		20	◆ 比例・反比例について理解する。 ◆ グラフを読むことや書くことができる。 ◇ 比例 ◇ 反比例 ◇ 比例と反比例の利用	○		○

月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
12	平面の図形	19	◆ 平面図形の性質を理解する。 ◆ 作図ができる。 ◇ 平面図形 ◇ 作図 ◇ 円とおうぎ形			
1 2	空間の図形	20	◆ 空間図形の性質を理解する。 ◆ 立体の表面性と体積を求めることができる。 ◇ 空間図形 ◇ 立体の表面積と体積			
3	データの分析	12	◆ 資料の整理方法や特徴を理解し、活用することができる。 ◇ 資料の整理とその活用 ◇ 累積度数 ◇ ことからの起こりやすさ			
3	1年間のまとめ	15	◆ 1年生の学習内容の定着を図る。 ◇ 1年間のまとめ・復習			

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	中学部	学年	第 1 年	
教科等名	理科			学習グループ	⑤	
ねらい	(1) 身近な事物・現象に関心をもち、目的を明確にし観察や実験に取り組む。 (2) 観察・実験を通し、分析・解釈する力を育む。 (3) 自然界で起きている事物・現象への知識や理解を深める。					
担当教員	遠藤 仁			年間授業時数	105 時間	
使用教科書	大日本図書 「理科の世界1」					
主な指導の工夫	(1) 科学資料集や文献の図版などを用いて、見識を広める。 (2) 観察や実験を通し、実際に体験しながら理解を深めていく。 (3) 教科書・ノートと復習用のプリントを通して、知識の定着を図る。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	身近な生物の観察	6	◆ 身の回りに生息する植物と動物を知ることができる。 ◇ ルーペや顕微鏡などの観察器具の操作方法と観察対象の記録の仕方を学ぶ。			○
5	植物のなかま	9	◆ 被子植物（単子葉類、双子葉類）と裸子植物の体の作りが分かり、分類することができる。 ◇ 身近なところに生息する被子植物、裸子植物の根、茎、葉を観察し違いを学習する。	○		
6	動物のなかま	12	◆ 動物を分類することができる。 ◇ 身近な脊椎動物と無脊椎動物について観察して、特徴をまとめる。		○	
7	いろいろな物質	9	◆ 身の回りの物質の種類や特徴を知る。 ◇ 身の回りで使われている金属や有機化合物を使い、観察実験を行い性質を学ぶ。		○	
9	気体の発生と性質	12	◆ 身の回りの気体の性質を知る。 ◇ 酸素、窒素、水素、二酸化炭素、水蒸気などの身近な気体を用いて実験を行い、その性質をまとめる。	○		

月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
10	光と音の性質	12	<p>◆ 波として伝わる光と音の特徴を知る。</p> <p>◇ 光の反射や屈折の実験を行い、光速が媒質によって変化し、そのために反射や屈折が起こることを学習する。</p> <p>◇ 金属中や水中で音が伝わることや、真空中で音は伝わらないことを確認し、音は振動だということを学習する。</p>	○		○
11	力のはたらき	12	<p>◆ 重力や弾性力、垂直抗力などの力の種類と作用反作用の法則を知る。</p> <p>◇ 物体が接している点から力を書くことや、重力は接していなくても物体の中心に書くという基礎的な力の表示規則を学ぶ。</p>		○	
12	火山	9	<p>◆ 火山の形や活動について知る。</p> <p>◇ 火山噴出物を観察し、噴出物の違いから噴火した火山の形や活動の激しさを分類できることを学習する。</p>			○
1	地震	9	<p>◆ 地震の揺れの伝わり方を知る。</p> <p>◇ 波動実験用つるまきばねを使い縦波（P波）横波（S波）を観察し、地震の揺れの伝わり方を学習する。</p>	○		
2	地層	9	<p>◆ 地層のでき方を知る。</p> <p>◇ 地層の写真を見て地層のでき方を学習し、断層や鍵層、リップルマークなど特徴的な層について学ぶ。</p>			○
3	大地の変動	6	<p>◆ プレートの特徴を知る。</p> <p>◇ 地震が起きやす地域をプロットしたものとプレートの境界線を比べ、プレートの動きについて学ぶ。</p>		○	

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体(本校)	学部	中学部	学年	第1年	
教科等名	音楽			学習グループ	⑤	
ねらい	(1) 音楽の幅広い活動を通し、音楽を愛好する心情を育み、豊かな情操を培う。 (2) 演奏方法を創意工夫しながら、演奏や合奏をする力を付ける。 (3) 鑑賞などを通して、音楽文化への理解を深める。					
担当教員	早坂 あまね			年間授業時数	35 時間	
使用教科書	教育出版「中学音楽2・3上下 音楽のおくりもの」「中学器楽1-3 音楽のおくりもの」					
主な指導の工夫	(1) 曲のイメージをつかみやすいよう、写真や映像を取り入れる。 (2) 個人練習やパート練習の時間を設けて主体的に活動できるように促す。 (3) 幅広いジャンルの音楽を鑑賞し、興味、関心を広げる。					
月	単元(題材)名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4 5	合奏「私のお気に入り」	6	◆ 周囲とのリズムやタイミングを合わせて演奏する。 ◇ タイミングやリズムを意識しながら周囲と合わせる。 ◇ 譜面を見ながら楽器ごとに個人練習をする。	○		○
6 7	日本語の抑揚を生かした旋律をつくろう	6	◆ 言葉のリズムやまとまりを意識して、旋律をつくる。 ◇ 七五調の短い歌詞をつくって、リズムをつける。 ◇ 言葉の抑揚を線で表し、音をあてはめる。 ◇ できた旋律を五線に書き写す。	○	○	○
9	ジャズを鑑賞しよう	4	◆ ジャズを鑑賞して、その特徴を感じ取る。 ◇ 「枯葉」「A列車で行こう」を鑑賞する。			○
10 11 12	歌唱	12	◆ 正しい発声で、情景をイメージしながら歌う。 ◇ よい姿勢で発声練習をする ◇ 歌詞の内容から情景を想像し、それぞれをどのように表現するか考えて歌う。 ◇ 強弱を意識しながら、表現することができる		○	○

月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
1 2	和太鼓を演奏しよう	4	<p>◆ 和太鼓の歴史や構造を知り、簡単な曲を演奏する。</p> <p>◇ 和太鼓の曲を鑑賞する。</p> <p>◇ 長胴太鼓、締太鼓、鉦にパート分けをして、合奏する。</p>			
3	卒業式の歌「すてきな友達」	3	<p>◆ 音楽を通じて行事を意識する。</p> <p>◇ 歌詞の意味や情景を考える。</p> <p>◇ 変声期について知る。</p> <p>◇ 強弱記号や発想記号について知る。</p>			

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	中学部	学年	第 1 年	
教科等名	美術			学習グループ	⑤	
ねらい	(1) テーマや素材などから発想を広げて自分らしい作品を作る。 (2) 様々な素材や道具を使って、楽しんで創作する。 (3) 綺麗なもの美しいものに興味を向け、自分の見方や感じ方を広げる。					
担当教員	木村 夏生			年間授業時数	45 時間	
使用教科書	日本文教出版「美術1 出会いと広がり」					
主な指導の工夫	(1) 手の操作性に合わせた用具を工夫し、創作への意欲を高める。 (2) 紙、粘土など様々な素材を提示し、選べるようにする。 (3) 見本や制作の手順などを分かりやすく示し主体性を引き出す。					
月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
通 年	作品鑑賞		◆ 世界の美術作品を鑑賞し、美術の歴史や文化について学ぶ。 ◇ 美術動画や写真を鑑賞し、話し合ったりしながら理解を深める。 ◆ 友達の作品に興味をもち、作品の良い所について見付けることができる。 ◇ 友達や自分の完成した作品を鑑賞し、良い点について発表する。	○		
4 5 6	自画像	13	◆ 制作手順を理解し、絵の具を塗り重ねる順番を考える。絵の具を混色して表現したい色を作ることができる。 ◇ 透明なアクリルシートへ自分の顔写真を写し取る。裏面から絵の具を塗り重ね、立体感を表現する。		○	
7 8 9 10	ランプ作り	14	◆ 明かりが灯ることを考えて、素材の構成を考え制作することができる。 ◇ ガラスやタイルを土台に貼り付け、中から明かりを灯す。		○	
11 12 1	陶芸	13	◆ 粘土の特性を理解し、素材の扱いに慣れる。 ◇ 石膏型を使用し、粘土を形作る。粘土に石や葉を押し付けて模様を作る。	○		
2 3	マーブリング	5	◆ 表現したい模様を予測しながら液を垂らす。 ◇ マーブリング液を専用液に垂らし、紙を付けて模様を定着させる。			○

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	中学部	学年	第 123 年	
教科等名	保健体育			学習グループ	⑤	
ねらい	(1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び、自分の生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 各種の運動や健康・安全についての自分の課題を見付け、その解決に向けて自ら思考し、判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3) 生涯にわたって運動に親しむことや健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。					
担当教員	近藤 唯、小林 真			年間授業時数	35 時間	
使用教科書	学研「中学保健体育」					
主な指導の工夫	(1) 各種運動ごとに学習プリントを使用し、ルールや競技方法、自己評価、次時の目標を振り返ることができるようにする。 (2) 課題解決場面を設定し、助け合う・話し合う活動を行う。 (3) 学習目標を明確に示し、主体的な学習を促し目標を意識化させるようにする。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	体づくり運動	3	◆ 体を動かす楽しさに触れ、友達と関わったり、動きを持続する能力を高める。 ◇ 体操、集団行動			
5	体育祭に向けて	3	◆ 運動に積極的に取り組み、きまりを守り、友達と助け合い、安全に留意する。			
6	（陸上競技） 保健：健康な生活と病気の予防	4	◇ 陸上競技 ◇ 運動と健康、食生活と健康、休養と健康	○		○
7	水泳	2	◆ 水に慣れ、自己の能力に適した課題をもって、技能を高める。			
		1	◇ 水慣れ、浮き身		○	
9		1	◇ 自由形			○

月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
9	球技 保健：心身の機能の発達 と心の健康	3	◆ 自己の能力に適した課題をもって、個人やグループで協力しながら自己記録の向上や喜び、競争の楽しさが味わうことができるようになる。			
10		3	◇ ボール慣れ、基本姿勢、シュート		○	
11		3	◇ 生殖機能の成熟、異性の尊重と性情報への対処	○		
12	武道：剣道	3	◆ 伝統的な行動の仕方を理解し、相手を尊重して積極的に取り組む。			
1		3	◇ 基本動作・面・小手			○
2	モルック	3	◆ 運動やスポーツが多様であることについて理解する。 ◇ 投球、試合		○	
3	保健：傷害の防止	2	◆ 傷害の防止について理解しているとともに、応急手当についての技能を身に付けることができる。 ◇ 交通事故の防止、自然災害に備えて、応急手当の意義と基本	○		

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体(本校)	学部	中学部	学年	第1年	
教科等名	技術・家庭科			グループ	⑤ 学習グループ	
ねらい	(1) 生活や将来の就労に必要な基礎的な知識と技能を習得する。 (2) 家庭生活を大切にできる心情を育み、家族の一員として生活をより良くしようとする実践的な態度を養う。					
担当教員	牧 理、並木 美由紀			年間授業時数	70 時間	
使用教科書	技術 開隆堂「技術・家庭 技術分野」 家庭 教育図書「New技術・家庭 家庭分野」					
主な指導の工夫	(1) 身近な作物を取り上げ、画像や計画例を示し、主体的に栽培計画を作成できるようにする。 (2) 実習に重点をおきながら、見本や資料を提示し、自分で考えながら製作や実習を進められるようにする。					
月	単元(題材)名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
5 6 7	技術科 ○身の回りにおける生物育成の技術	14	◆ 生物育成の技術が生活や社会に果たしている役割に気付く。 ◇ 人間と生物育成の技術の関係についてまとめることができる。		○	
	技術科 ○生物育成の計画の立て方	14	◆ 設定した課題に応じて生物の育成計画を立てる。 ◇ 課題解決に応じて育成計画を作成することができる。	○		
9	技術科 ○生物育成の技術の学習を振り返ろう	6	◆ 生物育成の学習を振り返り、技術の見方・考え方について考える。 ◇ 生物育成の技術の持続可能な発展について理解を深めることができる。		○	
10	家庭科 ○衣生活と自立 ・製作の基礎技能 ・小物類の製作	4	◆ 製作に必要な基礎的な技能を知り、身に付ける。 ◇ 裁断、ミシン縫いの基礎を身に付ける。	○		
11		8	◆ 生活を豊かにするものを考え、計画を立て、安全に製作ができる。 ◇ 小物類を製作する。			○

月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
12	家庭科 ○食生活を豊かにする ために ・栄養素の種類と働き ・食品に含まれる栄養素	6	◆ 健康な食生活を送るために必要な知識を身に付ける。 ◇ 栄養素の種類と働きを知る。 ◇ 各食品に含まれる栄養素について知る。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
1 2 3	家庭科 ○食生活を豊かにする ために ・日常食の調理	18	◆ 日常食の調理に必要な知識と技能を身に付ける。 ◇ 安全と衛生に気を付けて、日常食の調理をすることができる。 ◇ 食品の調理上の性質を知り、適切に調理することができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体(本校)	学部	中学部	学年	第1年	
教科等名	外国語			学習グループ	⑤	
ねらい	(1) コミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。 (2) Listening, Speaking, Reading, Writingの技能の習得や向上を図る。 (3) 外国語やALTとの学習を通じて、外国の言語や文化に対する理解を深める。					
担当教員	相田 多恵			年間授業時数	140 時間	
使用教科書	東京書籍「NEW HORIZON 1」					
主な指導の工夫	(1) 生徒の実態や学習状況に応じて繰り返しの学習や復習を行う。 (2) ゲームを取り入れ、楽しく学べるようにする。 (3) デジタル教科書を活用する。					
月	単元(題材)名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	Unit 0 Welcome to Junior High School	10	◆ 小学校で習った表現を使って、自分と相手のことについてやり取りすることができる。 ◇ 場面の表現 ◆ アルファベットの知識をもとに、単語を読んだり書き写したりすることができる。 ◇ 英語の音と文字	○		○
5	Unit 1 New School, New Friends	10	◆ 名前や好きなものなどについて伝え合えることができる。 ◇ I am ... I like ... ◆ 出身地や好きなスポーツなどについてたずねたり答えたりすることができる。 ◇ Are you ...? Do you ...?	○		○
	Unit 2 Our New Teacher	10	◆ 相手に紹介する場面で、身近な人やものについて話すことができる。 ◇ This [That, He, She] is ... Is that [this] ...? ◆ 人 [もの] がだれ [何] なのかについて、たずねたり答えたりすることができる。 ◇ What ...? Who ...?		○	○
6				○	○	

月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
6	Unit 3 Club Activities	10	◆ 場所や時についてたずねたり答えたりすることができる。			
7			◇ Where …? When …? ◆ したいことや夢について伝え合うことができる。 ◇ I want to ….	○		○
9	Unit 4 Friends in New Zealand	10	◆ 現在の時刻を確認したり、相手の毎日の習慣などについて時刻をたずねたり答えたりすることができる。 ◇ What time …?		○	○
10	Unit 5 A Japanese Summer Festival	10	◆ どこにあるか・どこにいるかを説明することができる。 ◇ 前置詞 (… is by the bench. / the bench under the tree) ◆ 好きなことや楽しんでいること、得意なことを伝えることができる。 ◇ be good at …ing		○	○
11	Unit 6 A Speech about My Brother	10	◆ 友達などについてのスピーチを聞き取ったり、友達の趣味などについてたずね合い、わかったことを整理して書いたりすることができる。 ◇ 三人称単数現在形（肯定文、否定文） ◆ まとまりのあるスピーチをしたり、やり取りしたことを整理して紹介文を書いたりすることができる。 ◇ 三人称単数現在形	○		
12	Unit 7 Foreign Artists in Japan	10	◆ 文化や言葉、食べ物などについて知るために、どちらであるかをたずねたり答えたりすることができる。 ◇ Which …(, A or B)? ◆ 持ち主がだれであるかを知るために、だれのものかをたずねたり答えたりすることができる。 ◇ Whose …? mine, yours	○		○
					○	○

月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
12 1	Unit 8 A Surprise Party	10	◆ 誕生日にほしいものを伝えたり、電話での会話から相手がしていることを聞き取ったりすることができる。 ◇ When …?, Which …? ◆ 今していることを伝え合うことができる。 ◇ 現在進行形	○		○
	Unit 9 Think Globally, Act Locally	10	◆ 行きたい国とそこでしたいことを伝え合うために、おたがいの考えをたずねたり答えたりすることができる。 ◇ want to		○	○
	Unit 10 Winter Vacation	10	◆ 過去の出来事を伝えるために、自分がしたことなどを説明することができる。 ◇ 一般動詞の過去形（肯定文）	○		○
	Unit 11 This Year's Memories	10	◆ 思い出を残すために、英語で日記を書くことができる。 ◇ be動詞の過去形，過去進行形 ◆ 自分の町を紹介するために、町にある施設を説明することができる。 ◇ be動詞の過去形，There is [are] ….		○	○
3	1年間のまとめ	5	◆ 単語、文法のおさらいをし、定着を図る。 ◇ 1年間の学習事項の復習	○		
	英検対策	5	◆ 英検受験に向け、解き方や時間配分を身につける。 ◇ 英語検定の過去問	○	○	
	ALT 英語でのやり取りを中心とした学習	10	◆ コミュニケーションを取ろうとする態度を育成し、技能の向上を図る。 ◇ 教科書Let's talk		○	○

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体(本校)	学部	中学部	学年	第1年	
教科等名	道徳			学習グループ	⑤	
ねらい	(1) 自分や他の人に対する理解を深め、考えや意見を自ら表現する。 (2) 自然や崇高なものに興味をもち、理解を深める。 (3) 集団や社会でのルールやマナーなどについての理解を深める。					
担当教員	梅原 諒、柳堀 拓也			年間授業時数	35 時間	
使用教科書	「きみがいちばんひかるとき」 中学道徳1, 2, 3 光村図書					
主な指導の工夫	(1) 多角的に自己理解・他者理解ができるようにする。 (2) ICT機器を活用しながら、主体的に考える時間を大切にする。 (3) 総合的な学習の時間と連携し、実体験を伴って考えたり、話し合ったりする。					
月	単元(題材)名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	A[向上心、個性の伸長]	3	◆ 自分の興味や関心について考える。 ◇ 自己紹介 ◇ 他己紹介			
5 6	B[相互理解・寛容]	3	◆ お互いを認め合う心を育てる。 ◇ グループエクササイズ、コミュニケーションゲーム			
7	A[真理の探究、創造]	3	◆ 答えがひとつではない問題について考える。 ◇ 自分なりの意見をもち、伝える			
9	C[遵法精神、公德心] あすを生きる1	3	◆ 法やきまりの意義を理解し、自他の権利を重んじる自覚と判断力を養う。 ◇ インターネット使用時のルールや著作権			
10	B[礼儀の心] あすを生きる1 「『愛情貯金』をはじめませんか」	4	◆ あいさつの意義を理解し、場面に応じて適切な言動をしようとする実践意欲と態度を育てる。 ◇ 礼儀、マナー			
11	D[生命の尊さ] きみがいちばんひかるとき 1 「捨てられた悲しみ」	3	◆ 生命のかけがえのなさを理解し、生命を大切にしようとする態度を育てる ◇ 命の尊さ			

月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
12	A [希望と勇気、克己と強い意志]	3	◆ 困難や失敗を乗り越えて、着実にやり遂げる気持ちを育てる。 ◇ グループ学習発表練習		○	○
1	C [国際理解、国際貢献]	4	◆ 国際的視野に立ち、世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする心情を育てる。 ◇ S D G s		○	○
2	C [勤労]	4	◆ 働くことの素晴らしさについて学ぼうとする実践意欲を育てる。 ◇ 疑似仕事体験		○	○
3	B [思いやり、感謝]	3	◆ 多くの人によって支えられ、守られていることに気づき、感謝する態度を育てる。 ◇ 1年間の自分を振り返る		○	○

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	中学部	学年	第 2,3 年	
教科等名	総合的な学習の時間			学習グループ	⑤	
ねらい	(1) 相手の意見をふまえた上で、自分の考えをもち、自分で判断し問題解決につなげる資質を身に付ける。 (2) 学び方やものの考え方を身に付け、多くの活動に主体的、協同的に取り組む経験を積む。					
担当教員	梅原 諒、柳堀 拓也			年間授業時数	70 時間	
使用教科書	なし					
主な指導の工夫	(1) 体験活動を多く取り入れ、課題解決力を高める。 (2) 話し合う、調べる、まとめるなど生徒が主体的に活動する時間を十分に確保する。 (3) 自分の意見をもち、伝えあう場を設定する。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
1 ・ 2 学期	進路学習	25	◆ 中学部卒業後の進路について考える。 ◇ 職業調べ ◇ 生活していくためにかかるお金について知る。 ◇ 目指す大人像	○	○	○
	自己紹介	2	◆ 友達のことを知る、自分を見つめる。 ◇ 自己紹介			○
	今年度の目標	2	◆ 個人・グループ目標を設定し、意識して生活する。 ◇ 目標設定		○	○
5 6	情報リテラシー学習	8	◆ インターネットの適切な使い方を身に付ける。 ◇ 情報リテラシー ◇ SNSの使い方	○	○	○
7 9 10	校外学習（事前学習）	10	◆ 校外学習についての見通しをもつ。 ◇ 国会議事堂についての調べ学習・発表 ◇ しおり作成		○	○
11	校外学習（事後学習）	6	◆ 校外学習の学習をまとめる。 ◇ パワーポイント資料作成、発表	○		○

月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
12	N I E 朝日新聞出前授業（事前学習）	5	◆ 地球の未来を考え、自分たちにできることを考える。 ◇ 新聞の読み方 ◇ SDGs について	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
1	N I E 朝日新聞出前授業（事後学習）	4	◆ 学んだことを自分事として捉え、自分の考えを文章でまとめる。 ◇ スピーチについて	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 3	進路学習	8	◆ 高校や大学、職業について学び、自分に合った進路について考える。 ◇ 高校、大学、職業についての調べ学習 ◇ 適性把握 ◇ 人生予想図作成	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	中学部	学年	第 1 年	
教科等名	特別活動			学習グループ		
ねらい	(1) 行事への期待感や興味・関心を高め、自主的・主体的に活動する。 (2) 身近な仲間を意識し、協力し合いながら学校生活を送る。 (3) 学習や活動を通して色々な人とつながる楽しさを知る。					
担当教員	新田真 所竜之介 長嶺亜矢子 木村夏生 早坂あまね			年間授業時数	35 時間	
使用教科書						
主な指導の工夫	(1) 写真や視聴覚教材を利用し、興味・関心をもてるようにする。 (2) 学習グループを超えてコミュニケーションがとれる場面を設定する。 (3) 仲間を意識して発表したり、考えたり、一緒にできる活動を設定する。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	オリエンテーション	2	◆ 学校生活に見通しや期待感をもつ。 ◇ 行事や学習内容に関するオリエンテーション。	○		
	新入生歓迎会	1	◆ 新入生歓迎会を通して学部の仲間や雰囲気を知る。 ◇ 自己紹介、レクリエーション。		○	
5	体育祭	3	◆ 体育祭に見通しをもち、参加する。 ◇ 体育祭の競技種目を知る。			○
6		1	◇ 体育祭の競技種目を体験し、互いに励まし合い、練習する。			○
7	宿泊防災①	3	◆ 宿泊防災について内容を知り、見通しをもつ。 ◇ スライド教材を見て、日程や行程について確認する。	○		
			◇ 係活動を決める。			○
7	1学期を振り返って	1	◆ 1学期を振り返り、頑張ったことを発表する。 ◇ 発声やスイッチなどの方法で主体的に発表する。		○	

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	中学部	学年	第 1 年	
教科等名	自立活動			学習グループ	⑤	
ねらい	(1) ストレッチなど、変形や拘縮の予防につながる活動を進んで行う。 (2) いろいろな姿勢や動作を経験することで、自分自身の身体とその動きを感じ、受け入れる力をつける。 (3) 障害による学習上、生活上の困難を改善する。					
担当教員	梅原 諒、柳堀 拓也			年間授業時数	70 時間	
使用教科書	なし					
主な指導の工夫	(1) 個々の課題に合わせた内容を行う。 (2) PT、ST、OTのアセスメントを参考にする。 (3) 自らストレッチや歩行練習などに取り組めるよう配慮する。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
通年	自立活動		◆ 身体の取り組みや健康に関することなどに取り組み、日常生活に生かす。 ◇ ストレッチ ◇ 姿勢変換（臥位から座位へ、寝返り、車いすから床への移乗、床から車いす） ◇ 歩行練習 ◇ 姿勢保持（座位、膝立ち、立位など） ◇ 手指の操作性を高める取り組み ◇ 視機能を高める取り組み			

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度